

総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会
省エネルギー小委員会 ガス石油温水機器判断基準
ワーキンググループ（第3回）
議事要旨

1. 日時：2020年6月24日（水）10:00～12:00

2. 場所：経済産業省 別館3階 310会議室

3. 出席者

委員：鎌田座長、大國委員、齋藤委員、花村委員、林委員

オブザーバー：足立オブザーバー（日本ガス石油機器工業会）、
平野オブザーバー（日本ガス石油機器工業会）、
本荘オブザーバー（日本ガス協会）

事務局：経済産業省 江澤省エネルギー課長、
井出省エネルギー課課長補佐、
杉浦省エネルギー課係長

4. 議題：

- (1) 目標年度と目標基準値について（案）
- (2) 達成判定について（案）
- (3) 表示事項等について（案）
- (4) 取りまとめ案について

5. 議事要旨：

○議題（1）目標年度と目標基準値について（案）

目標年度と目標基準値について、了承された。

○議題（2）達成判定について（案）

達成判定について、特例の企業別平均熱効率による評価及びハイブリッド給湯機の扱いを含め了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- ハイブリッド給湯機は、非常に省エネに資する機器であるため普及

促進を進めるべきではないか。そのためには、何らかのかたちで評価することが重要ではないか。

- ハイブリッド給湯機の特例は、次回見直し時にその普及状況等を見極めつつ改めて検討することとして認めてはどうか。

○議題（３）表示事項等について（案）

表示事項等について、了承された。

○議題（４）取りまとめ案について

本日の検討結果を事務局にて反映させた上で、委員の確認後、座長に一任いただくことで了承された。

委員の主な意見は以下のとおり。

- 電力の消費も含めた総合的なモード効率の検討を今後進めていくべきではないか。
- 待機時消費電力の削減についても引き続き努めるべきと思われる。
- 省エネ機器の普及啓発や省エネ性能に関する情報提供に留まらず、家庭の省エネへの寄与についても情報提供に努めることが、省エネを進めることにつながるのではないか。

以上